

今月のみことば 2024年5月

「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。

わたしがあなたがたを休ませてあげます。

わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます。」 マタイ 11:28,29

疲れた羊の回復

こんにちは。皆さんは日々の生活の中で、どうしてもなく疲れてしまうことはあるでしょうか。私は先日ありました。仕事が進められず、がむしゃらに手を動かすのですが、仕事は減るところか積みあがっていきます。気持ちばかりあせってしまい、心が穏やかで無くなっていきます。挙句の果てにカリカリした思いを家に持ち帰り、妻に小言を言ってケンカをして、家でも疲弊してしまいました。私自身は身から出たサビですが、巻き込まれた妻には申し訳ないことをしてしまいました・・・

現代は「ストレス社会」と呼ばれています。仕事の複雑化や働き方の多様化、社会不安、世界情勢の懸念、感染症も無くなったわけではありませんし、ニュース、SNS では様々な情報が目まぐるしく飛び交っています。日々の生活をまわすだけでも私達はストレスを感じ、疲れてしまいます。そんな世の中で生きている私たちですが、真の休息を得られる場所はどこにあるのでしょうか。

聖書には、疲れきってしまった人を回復させようと、手を差し伸べてくださる方が書かれています。その方こそイエス・キリストです。イエス様は、人々が羊飼いのいない羊の群れのように弱り果てて倒れている姿を見て深くあわれまれた、と聖書に書かれています。この方は、孤独で弱り果てている羊(私)を見つけだし、愛情深く養い、再び立ち上がらせ、健全に歩むことができるように導く良い羊飼いです。「すべて疲れた人、重荷を負っている人はわたしのもとに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。」このイエス様の言葉は、現代に生きる私たちへの呼びかけでもあります。私たちが疲れる理由、心の内の悩みや苦しみをもご存じの方が、私達を休ませ、回復させようと招いて下さっているとは、なんと幸いなことでしょうか。



さらにイエス様は、私達を休ませて終わりの方ではありません。「わたしは心が柔和でへりくだっているから、あなたがたもわたしのくびきを負って、わたしから学びなさい。そうすれば、たましいに安らぎを得ます」と語られました。くびきとは2頭の牛の首につける横木で、農耕などのために家畜を制御するものです。「くびきで拘束されるなんてまっぴら!」と思ってしまいますが、イエス様のくびきは倒れそうな相方(私)を支え、正しく歩めるように導く愛のくびきです。イエス様はあなたの重荷を共に負い、あなたを支えて共に歩みたいと願っておられます。この方のくびきを負う時にたましいの安らぎ、すなわち真の休息と回復を私達は得ることができます。どうかこの方の招きの声に耳を傾け、真の回復、癒しを得ることができますように。(〇)